

政策	6章 政策1	皆で元気な地域をつくる	
主管課	市民生活環境課	関係課	生涯学習課

1. 政策の方針・指標・関係者の意見等

(1) 政策の対象と方針

対象	政策の方針
市民、地域コミュニティ	活力ある糸満市とは、市民一人ひとりが輝く市にほかなりません。そのため、まちづくりの基礎単位となる自治会などの地域コミュニティを元気にするための取り組みや、市民一人ひとりがそれぞれの場所で持てる力を発揮するため、地域と学校の協働や生涯学習などと連携した取り組みを推進します。 また、市民活動支援センターなどを活用し、糸満市の一員としてまちづくりに関わる気運を高めるとともに、地域活性化にむけた人材育成の推進や地域間交流の促進を図り、地域において住民自らが参画して互いに助け合う元気な地域をつくることを目指します。

(2) 政策の基礎的データとなる指標

基礎的指標			単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	人口		人	見込値								63, 241
				実績値	61, 646	62, 099	62, 270	62, 185	62, 590	62, 406	62, 255	
②	自治会数		自治会	見込値					70	70	70	70
				実績値	-	69	69	69	69	69		
③				見込値								
				実績値								

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト

(3) 総合計画等の指標の目標値・見込値・実績値及び施策コスト							前期基本計画期間					
指標区分		指標	単位		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度 (前期目標値)
A	総合計画 (総合戦略)	自治会結成率	%	目標値					94.6	94.6	94.6	95.0
				見込値					94.6	94.6	94.6	95.9
				実績値	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4	94.4		
B	総合計画 (総合戦略)	自治会加入率	%	目標値					57	58	59	60
				見込値					46	44	43	43
				実績値	53	48	45	45	43	43		
C	総合計画 (総合戦略)	市民活動支援センター利用者数	人	目標値			1,340	1,398	1,456	1,514	1,572	1,630
				見込値					1,456	1,514	3,587	3,587
				実績値	1,342	1,706	1,453	1,903	4,610	3,587		
D	総合計画	集会所の設置・更新・改修の延べ件数	件	目標値			0	1	2	2	3	5
				見込値					2	2	3	5
				実績値	-	1	1	2	2	2	4	
E				目標値								
				見込値								
				実績値								
F				目標値								
				見込値								
				実績値								
G				目標値								
				見込値								
				実績値								
H				目標値								
				見込値								
				実績値								
施策コスト 施策に係る事務 事業の合計額		事業費		千円				99,084	119,824	94,443	0	0
		国・県支出金		千円				2,190	17,380	0		
		地方債		千円				0	0	0		
		その他		千円				3,849	7,947	11,092		
		一般財源		千円				93,045	94,497	83,351		

※令和4年度以前の数値については、把握できるもののみ入力。

(4) 総合計画等の指標の設定理由及び目標値・見込値の考え方

A	総合計画（総合戦略）	自治会結成率
	設定理由	地域コミュニティの中心となる自治会が未結成の地区もあることから、結成率を把握する。（市民生活環境課資料）
	目標値	平成30年度は73自治連絡区となっているが、今後は潮崎町も含め75自治連絡区となる想定である。現状の69自治会に加え、令和7年度までに2自治会、令和12年度までに4自治会（西崎3丁目東・潮平西原・照屋東・西崎6丁目）の結成を目指す。
	見込値	令和4年度に新たに1自治連絡区が増加し自治会結成となったものの、1自治会がなくなったことから、94.4％（69自治会/74自治連絡区）のままとなる。令和5年度以降は、残る4自治会のうち1自治会の結成を見込む。
B	総合計画（総合戦略）	自治会加入率
	設定理由	地域コミュニティの中心となる自治会について、加入している世帯の割合を把握する。（市民生活環境課資料）
	目標値	平成30年度の実績値を踏まえ、自治会行事、地域活動などを通して毎年度1％の増加を目指す。
	見込値	高齢化や新興住宅地での近所付き合いの希薄化などで自治会加入率が低下していることから、令和5年度の実績値が令和6・7年度も続くと思込む。
C	総合計画（総合戦略）	市民活動支援センター利用者数
	設定理由	市民活動の活性化に向け、市民活動支援センターが関わったプログラム開発やイベントの開催、講座、まちづくり事業への参加者等の数を把握する。（市民活動支援センター資料）
	目標値	委託事業者の事業計画を勘案し、令和7年度まで毎年度58人、令和12年度まで毎年度50人ずつの増加を目指す。
	見込値	市民活動支援センターの受託事業者が、SNS等で活動内容（個人・団体支援などの相談業務）を周知したことにより、令和5年度は1,000人を超える利用があった。また、まちづくり事業（提案事業参加、講座、座談会、ボランティア活動など）への参加人数が約2,500人であった。令和6年度も若者が共感し、ボランティア活動に参加してもらうことを目的に事業を展開していることなどから、令和5年度の実績値が令和6・7年度も続くと思込む。
D	総合計画	集会所の設置・更新・改修の延べ件数
	設定理由	市民活動の拠点となる集会所について、新規結成自治会における公民館等の建設、既存の自治会施設の改築及び大規模修繕の件数（延べ件数）を把握する。（市民生活課資料）
	目標値	過去の実績を勘案し、令和12年度まで毎年度1件ずつの増加を目指す。
	見込値	令和5年度まで宝くじ事業補助金の活用を希望している自治会は8自治会あるが、資材高騰等もあり、自主財源の確保が困難という理由から申請が無かった。令和6年度は市の建設補助金が増額された事と、新たに集会所等の大規模改修補助金を設けた事で、1自治会が改築、1自治会が改修を行った。
E		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
F		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
G		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	
H		
	設定理由	
	目標値	
	見込値	

(5) 環境変化（個別計画策定状況、近年・今後の外部環境の変化等）

・自治会集会所の老朽化は進行しているが、補助メニューや自主財源確保、物価高騰等の観点から、対策が進んでいない。

・少子高齢化の進展等から、地域活動に参加できないなど自治会の会員が減少傾向にある。

(6) 関係者の意見・要望

・自治会から、役員のなり手が不足しているとの相談がある。

・市民から、自治会未結成地域に対する支援（補助金等）の要望がある。

・地域懇談会において、道路整備等の要望が多い。

・公民館建設補助金等の増額及び新たに集会所等の改修補助メニューの創設により、自治会から評価する声がある。

2. 政策の実績評価

(1) 令和 7 年度（前期目標値）の指標の達成見込み

指標 A	総合計画（総合戦略）	【 自治会結成率 】					
<div><div><input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり</div><div><input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難</div></div>							
理由	現在、一団体が補助金を活用し自治会結成に向けて取り組んでいる。今後も自治会結成に向けた補助メニューを創設する等により、目標達成を目指す。						
指標 B	総合計画（総合戦略）	【 自治会加入率 】					
<div><div><input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）</div><div><input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難</div></div>							
理由	自治会会員加入の案内文等を含む自治会活動手引きを作成し、自治会の体制構築を支援する。						
指標 C	総合計画（総合戦略）	【 市民活動支援センター利用者数 】					
<div><div><input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）</div><div><input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり</div><div><input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難</div></div>							
理由	年度ごとのイベント内容等で利用者数が増減すると考えられるものの、SNS等の活用により各種取り組み等のPRを図り、引き続き利用者数の増加に取り組む。						
指標 D	総合計画	【 集会所の設置・更新・改修の延べ件数 】					
<div><div><input checked="" type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）</div><div><input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり</div><div><input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難</div></div>							
理由	令和6年度から新たに集会所等大規模修繕に係る補助事業を創設した。これによる事業効果をもって目標達成を目指す。						
指標 E		【 】					
<div><div><input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）</div><div><input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり</div><div><input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難</div></div>							
理由							
指標 F		【 】					
<div><div><input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）</div><div><input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり</div><div><input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難</div></div>							
理由							
指標 G		【 】					
<div><div><input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）</div><div><input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり</div><div><input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難</div></div>							
理由							
指標 H		【 】					
<div><div><input type="checkbox"/> 現在の計画、取り組みにより目標達成（見込み）</div><div><input type="checkbox"/> 新たな取り組み等により目標達成の可能性あり</div><div><input type="checkbox"/> 現在の想定では目標達成が困難</div></div>							
理由							
指標の数	4指標	うち現在の計画、取り組みにより目標達成見込み	2指標 (50.0%)	うち新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	1指標 (25.0%)	うち現在の想定では目標達成が困難	1指標 (25.0%)

(2) 前年度比較（令和4年度の市の取り組み・成果との比較）

評価	成果はほとんど変わらない(横ばい状態)	【5段階評価】 かなり向上～どちらかと言えば向上～ほとんど変わらない～どちらかと言えば低下～かなり低下
理由	・自治会結成率や加入率、集会所の新設・改築・改修が頭打ちとなっている。 ・市民活動支援センターの利用者数は、集客イベント等(まちづくり提案型事業)が行われなかったことなどから減少した。	

(3) 他自治体との比較（令和5年度の実績の県内他市等との状況比較）

評価	他自治体と比べてほぼ同水準である	【5段階評価】 高い水準～どちらかと言えば高い水準～ほぼ同水準～どちらかと言えば低い水準～低い水準	比較対象	県内11市
理由	他市においても新興住宅地域の加入率の低下傾向は同様と考える。同じく村落地域も高齢化等で減少傾向と考える。			

3. 政策を推進する上での現状と課題及び今後の取組方針

(1) 令和 6 年度の現状（令和5年度の実績を踏まえた政策（施策の展開）の取り組み）

・地域人材の育成、まちづくり意識の向上に向け、若年層とSNS等でのコミュニケーションを図る一方、学校（西崎中学校実施のPBL事業）と連携し、まちテラスのInstagramフォロワー2,000人達成に向けた解決策の提示を受けた。

・市民向けのイベント等の情報発信は紙媒体である広報紙が主となっているため、掲載できる量や時間が限られていることから、メールやSNS等を活用した情報発信の強化に取り組んだ。

・自治会の結成に向け、市民活動支援センターと連携し支援を行った。

(2) 令和 6 年度の課題（政策（施策の展開）を推進する上での課題）

・市民活動支援センターと連携してSNS等での各自治会の活動を紹介するなど、魅力発信に向けて調査・研究を行う必要がある。

・自治会員の減少等によりコロナ禍以前のような伝統行事の実施が難しいことから、市民活動支援センターや自治会等と連携し未加入者に対する加入促進の在り方について、調査・研究を行う必要がある。

・地域課題の解決に向けた取り組み等を行うため、市民活動支援センターと複数年委託契約が必要だと考える。

(3) 令和 7 年度 の取組方針（令和6年度の現状・課題を踏まえ、令和7年度に優先的に取り組む予定のもの）

・市民提案型まちづくり事業を通して市民活動団体を育成し、自治会とつながりを持たせ地域活性化のパートナーとなってもらい、行政・地域課題に対し住民を巻き込んで活動ができるよう、引き続き環境整備に取り組む。

・自治会を対象としたアンケート調査結果を分析・精査し、必要な施策等に取り組む。

・公民館施設などの充実に向け、引き続き老朽化施設の大規模修繕や備品更新等に係る支援を行い地域活性化を図る。